

学校法人兵庫カトリック学園 2025 年度 事業報告

はじめに

本学園は「カトリック精神に基づいて心身の健全な調和発達を助長すると共に、豊かな情操と道徳の芽生えを培うため、教育基本法及び学校教育法並びに、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、学校教育及び保育を行うことを目的とする」という建学の精神を掲げ、カトリック大阪高松大司教区内の幼稚園を支え守るために大阪教区が母体となり、2014年に宗教法人星の園幼稚園、みこころ幼稚園、赤穂あけぼの幼稚園を学校法人へと変更し、兵庫カトリック学園を設置・認可されて始まった。その後2015年にマリア幼稚園、佐用マリア幼稚園が、2018年には小さき花の園幼稚園が宗教法人から学校法人兵庫カトリック学園に所属することとなり、現在6園が当法人の下で教育・保育をそれぞれが持つ教育方針に従い運営している。

少子化が進み、国の政策や行政の方針や指針が目まぐるしく変わり、大きな経営環境の変化の中で常にチャレンジが求められている。保育士の確保やキャリアアップ、園児の確保と更なる教育・保育の充実が求められる中、幼稚園の置かれている状況と経営の難しさに対応する各幼稚園園長は困難に立ち向かっている。

学校法人として、経営のスリム化と迅速で正確な対応、深い洞察と変化に富む時代の先読みを実行するため、経営や企画を各園長にゆだねるだけでなく、法人の役員一同が一つになって進めていく必要がある。また同時に苦しんでいるカトリック幼稚園に救済の手を差し伸べられるよう準備が求められている。

2019年3月の理事会において、これらの問題解決にあたり経営企画室を設置し特別な検討に入った。カトリック大阪高松大司教区内には同じ目的で学校法人大阪聖マリア学園（大阪府内の所属幼稚園3園）もあり、両方の法人内幼稚園の支援も求められている。まず両法人の事務の統合と、各園の支援をはじめ、今後統一化を目指し経費の削減や効率化を図り、両法人が互いに協力し合える土壌を構築して、各幼稚園に安定した運営を目指していく。

各園が持つ教育・保育の方針の完成にはまだ時間がかかるが、カトリック園である特色を更に強め、キリストの思いによって園児一人ひとりの「いのち」を育めるよう、法人・各園ともに更に研鑽し、安心と喜びのうちに保護者が送り出してくれる園を目指して教育・保育ミッションを真摯に果たしていきたい。

I. 法人の概要

1. 建学の精神

この法人は、カトリック精神に基づいて心身の健全な調和発達を助長すると共に、豊かな情操と道徳の芽生えを培うため、教育基本法及び学校教育法並びに、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、学校教育及び保育を行うことを目的とする。

2. 学校法人の沿革

1950年8月8日	宗教法人	マリア幼稚園として学校設置・認可
1952年4月25日	宗教法人	みこころ幼稚園として学校設置・認可
1954年1月30日	宗教法人	星の園幼稚園として学校設置・認可
1955年1月21日	宗教法人	佐用マリア幼稚園として学校設置・認可
1955年5月25日	宗教法人	赤穂あけぼの幼稚園として学校設置・認可
1957年7月27日	宗教法人	小さき花の園幼稚園として学校設置・認可
2014年1月17日	学校法人	兵庫カトリック学園を設置・認可
2014年4月1日	学校法人兵庫カトリック学園	星の園幼稚園となる
2014年4月1日	学校法人兵庫カトリック学園	みこころ幼稚園となる
2014年4月1日	学校法人兵庫カトリック学園	赤穂あけぼの幼稚園となる

2015 年 4 月 1 日 学校法人兵庫カトリック学園 マリア幼稚園となる
2015 年 4 月 1 日 学校法人兵庫カトリック学園 佐用マリア幼稚園となる
2018 年 4 月 1 日 学校法人兵庫カトリック学園 小さき花の園幼稚園となる

3. 設置する施設

- 学校法人 兵庫カトリック学園
661 - 0035 兵庫県尼崎市武庫之荘 3 丁目 5 番 9 号 06-6932-1222
- 星の園幼稚園（認定こども園）
658 - 0053 兵庫県神戸市東灘区住吉宮町 2 丁目 18 番 23 号 078-811-5559
- みこころ幼稚園（認定こども園）
661 - 0035 兵庫県尼崎市武庫之荘 3 丁目 5 番 9 号 06-6432-5512
- 赤穂あけぼの幼稚園（認定こども園）
678 - 0237 兵庫県赤穂市上飯屋北 15 番 7 号 0791-42-2497
- マリア幼稚園（認定こども園）
671 - 1242 兵庫県姫路市網干区浜田 816 番 6 号 079-272-4663
- 佐用マリア幼稚園
679 - 5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用 2847 番 0790-82-2147
- 小さき花の園幼稚園
651 - 0053 兵庫県神戸市中央区籠池通 5 丁目 1 番 13 号 078-241-2910
- 学校法人 兵庫カトリック学園 法人事務センター
536 - 0007 大阪府大阪市城東区成育 3 丁目 7 番 16 号 06-6932-1222

4. 役員・評議員の概要 (2026 年 3 月 31 日現在)

理事：6 名 監事：2 名 評議員：7 名

II. 事業の概要

学園改革への取り組み

2020 年 4 月より学校法人兵庫カトリック学園と学校法人大阪聖マリア学園の両法人事務運営を行うために法人事務センターが設置された。この目的はカトリック大阪高松大司教区の下で両法人が互いに助け合い、カトリックミッションを遂行するため、法人事務のコスト削減し、安定した法人運営を行う。また、運営面で両理事長と園長の課題に対し、情報を収集し、実務を中心とした最善の業務を遂行する。

◎ 法人事務センター

- (1) 経営の安定化に向けて・・・ 職員の質の向上のため法人運営に関わる研修を受講研修
- (2) 財政の健全化・・・ 特定資産の明確化、3 か年の運営費の表示
- (3) 規約・規程の整備および公的書類の提出
- (4) 法人事務の効率化・・・ 高齢者雇用推進等担当者・法人カード管理責任者の任命

◎ みこころ幼稚園 (認定こども園)

教育方針

キリスト教的人間観に基づき、幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身ともに健康な調和のとれた発達を助長する

2025 年度の目標

- ◆ 本年度は幼児教育の質の向上と地域との連携強化を主軸とし、保育環境の充実を図る。
- ◆ 職員の研修機会を増やし、話合いの場や意見交換が十分できる時間を確保していく。

- ◆ 保護者との協力体制を強化することで、より良い教育環境を提供していく。
- ◆ 施設面ではおおきな改修を行わず、現有の環境を最大限活用しながら、教育・運営のソフト面を充実させていく。

◎ 星の園幼稚園（認定こども園）

教育方針

本園は教育基本法に則り、学校教育法に従い、カトリック精神に基づいて豊かな情操と円満な人格の完成をめざし、幼児一人ひとりの個性を尊重し、より良い環境を与えて、明朗、素直、純真で心身共に健全な発達を助長し、良き社会人となる基礎を培うようにしています。

2025 年度の目標

- 認定こども園幼稚園型への移行。
引き続き目の前の環境だけでなく、10年20年先を見越した環境を認定こども園に移行してこの1年間でしっかりまとめ考え整えていく。
特に人的環境又は、園内環境の整備、経営の安定などを考えていく。
- 人的環境は、今までの職員数を増加だけでなく、一人一人の保育職員としての質の向上を
考え、職員の一人一人の存在や違いが大切にされ、活かされる職場の実現。
働いているものが、自分らしく納得して働いていると実感できる職場づくり。
職員との面談の機会を増やす。
職員の質の向上が、子どもたちへの環境向上へとつながっていくと考える。
余裕のある職場環境を目指す。
- 前年度から取り組んでいる物的環境としての職場環境を整える。（職員室、職員ロッカー・休憩室など）
- 子どもの実体験を増やす。（自然と触れ合える農業体験の実施など）
- 保育・教育における職員の教育レベル向上（2023年度より継続）
- 子どもにも、保護者にも、職員にも魅力のある幼稚園を目指す。（2023年度より継続）

◎ 小さき花の園幼稚園

教育方針

キリスト教的人間観に基づき、乳幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身ともに健康で調和のとれた発達を助長する。

2025 年度の目標

- 幼稚園教育要領における「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を、モンテッソーリ教育を通して導き、同年齢活動を取り入れ年齢に応じた関りを深め心身のバランスの取れた育成を目指す。
- 職員間における連帯感・調和・報連相など共通理解のとれたチームとなるように努める。
- 教員一人一人が、資質向上に努め保育内容の充実に努める。
- 保育環境整備に勤め教師自身がその環境の一部であることを再認識し、園児一人一人が自己肯定感を高めることが出来るような保育を行う。
- 幼稚園と保護者が互いに連携しながら子どもの育ちを導く。

◎ マリア幼稚園 （認定こども園）

教育方針

本園は、教育基本法の理念に則り、学校教育法に従い、キリスト教精神により、就学前の子どもに関する教育、保育などの総合的な提供の推進に関する法律、子ども・子育て支援その他の関係法令を遵守して運営する。

適切な環境を与えて豊かな情操、円満なる人格を育成することを目的とする。人間ひとりひとりが、かけがえのない存在であるというカトリックの理念に基づく教育を根本方針としています。園児の清らかな魂に豊かで優しい心を育み、目に見えない創造主に対する信頼を養い、正しいものへの志向、社会に出て“正しい良心に従って、生き抜く”適切な躰による基本的な人間形成の基礎を作ることを目指している。

2025 年度の目標

- ① 職員の連携強化と保育の質の向上
 - 個別支援を必要とする多くの園児を園全体で把握し、研修を重ね、情報を共有して一つのチームとして関わる。保護者との連携強化の視点も大切にする
 - 1 歳半の園児の受入れを機に、乳児保育を含めた保育の質を高め、教職員の連携を強化して安全な園生活を保障する
 - 様々な状況の中にいる教職員のそれぞれの持ち味を活かした保育環境をめざす
- ② 75 周年をむかえ、これからをみすえて
 - 地域の人口減の波で、1 号児の減少は避けられない中、3 号児からの入園等枠組みを見直す
 - 現基準に合っていない総合遊具、携帯電話と連動できない古いイメージのホームページなどを見直し、これからの時代に合ったものを考える
 - 自己評価を活用し、さらに外部の方の評価も得ながら、園としての課題や不足への改善の手立てを共有し、具体的に模索していく

◎ 赤穂あけぼの幼稚園 （認定こども園）

教育方針

カトリック精神に基づいて、豊かな情操と、円満な人格の完成を目指します。幼児一人ひとりの個性を尊重し、よりよい環境を与えて、心身共に健全な発達を助長し、良き社会人になる基礎を培います。

2025 度の目標

- ① 教育環境づくり：
 - 多様な「個」が自分らしく働ける環境づくりを目指す
 - 互いに肯定的な理解と評価ができる職場の環境づくりを目指す（異なる環境で育ってきたそれぞれの意見や価値観を知り、それをきっかけに園全体が新しい世界・未知の世界・知識を手に入れる力を鍛える）
- ② 保育の質の向上：
 - それぞれの行事の中に、活動の主体がどこにあるのか（こども？先生？共主体？）意識できるような具体的なツールを利用する
 - 日々の保育・活動の一つ一つの解釈を丁寧なことで、自然に積み重ねられたものが行事で発揮されるような保育を目指す
- ③ 人材を育てる：
 - キャリアアップ研修などに参加し、学びを柔軟に取り入れる姿勢を持つ
 - 自己評価ツールを活用しながら「個人」・「園全体」の現状を正しく理解し、改善や手立ての方向性を全員で考える（「子どもにとってどうなのか」という視点を持って・継続的に）

◎ 佐用マリア幼稚園

教育方針

- 教育理念
1. 幼児教育にふさわしい環境を整える
 2. 園児一人ひとりをかけがえのない個人として尊び愛する
 3. 集団の中で惜しみなく与え合う心を育む
 4. 命のすばらしさと生きる喜びが人生の指針となるよう基礎を築く
 5. 家庭園が一つになって教育効果を高める
- 教育目標
- キリスト教的人間観に基づき、幼児も個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身ともに健康で調和のとれた発達を助長する。

2025 年度の目標

- 園児や教職員一人ひとりの存在が大切にされる保育や業務ができるよう同じ方向を向く。
- 保育のレベル向上を目指す。
 - ◆ 日々の保育に丁寧に取り組む中、それぞれの力を発揮し積み重ね自信に繋げていく。
 - ◆ 偏りのない保育内容の立案
- 本園の魅力（豊かな自然環境）を上手に取り入れた保育を大切にし、外部へのアピールも行っていく。